

大谷學報

第四十一卷 第三號

昭和三十七年一月二十日發行

華嚴法藏の善知識觀……………	山田亮賢……………(一)
戰國大名と本願寺……………	北西弘……………(三)
—— 武家門徒の問題をめぐって ——	
飛鳥佛教新考……………	堅田修……………(三)
「屠沽ノ下類」考……………	細川行信……………(五)
秋季公開講演演要旨……………	(六)
△書評▽	
「律藏の研究」……………	佐々木教悟……………(六)
「天台大師の研究」……………	福島光哉……………(七)
新刊紹介……………	(七)
彙報……………	(七)

大谷大學
大谷學會

大谷學報 第四十一卷 第二號 目次

信心と行業……………藤原幸章

法華經方便品における實相の問題

……………白土わか

敦煌本講經文と佛教經疏との關係(續)

……………平野顯照

正中版「寒山詩集」について……………廣山秀則

大谷大學研究年報 第十三集

願念寺藏 教行信證化身土卷

延書本の検討と或る臆說……………日野環

佛教興起のインド……………雲井昭善

—宗教と社會的基盤の研究序説—

『無底』について……………阿部行人

身體について……………岩見至

洪武朝の都察院について……………間野潛龍

THE OTANI GAKUHO

(THE JOURNAL OF
BUDDHOLOGY AND CULTURAL SCIENCE)

CONTENTS

Articles :—

- On 'the Good Friend' in the Avataṃsaka,
as it is Interpreted by Fa-ts'ang.....*Ryoken Yamada* (1)
- The *Samurai* Class and *Honganji*.....*Hiromu Kitanishi* (12)
- A New Study on Buddhism of the Asuka
Period.....*Osamu Katada* (36)
- On "*toko-no-gerui* (the people of the lowest classes),"
the followers of the Early Shinshu Order ...*Gyoshin Hosokawa* (53)
- The Otani Society Public Lectures (Epitome)

Book Reviews :—

- A. Hirakawa: *Studies in Vinaya**Kyogo Sasaki* (69)
- T. Sato : *Studies in the Great Master of T'ien-t'ai*
.....*Kosai Fukushima* (71)

Report

大谷學會會則

から實施する

以上

第一條 本會を大谷學會と稱し、事務所を大谷大學内に置く

理する
二、理事は會長を補佐する
三、委員は編集・庶務・會計の事務を分掌する

第二條 本會は佛教學・哲學・史學・文學並びにこれに關連する諸般の研究及びその發表を目的とする

第七條 役員の選出及任期を左の通り定める
一、會長は大谷大學々長がこれに當る
二、理事は大谷大學々務部長庶務部長學生部長並びに圖書館長がこれに當る
三、委員は大谷大學（文學部並びに短期大學部）教授・助教授の互選によりその任期は二年とする

第三條 本會の會員は大谷大學（文學部並びに短期大學部）教職員・學生及び本會の趣旨に賛同する者とする

第八條 會員は「大谷學報」及び「大谷大學研究年報」の配布を受け、本會主催の會合に出席することが出来る
第九條 會員は會費として年額金七百圓を納めるものとする
第十條 本會則は大谷大學教授會の決議によらなければ變更する事が出来ない

第四條 本會は左の事業を行う
一、「大谷學報」（年四回）及び「大谷大學研究年報」を發行する
二、毎年春秋二回公開講演會を開く
三、隨時研究會を開催する
四、その他圖書の出版等必要な事業を行う

第五條 本會に左の役員を置く
一、會長 一名
二、理事 四名
三、委員 十名
第六條 役員は本會を代表し、會務を統

附則 本會則は昭和二十七年四月一日

大谷學會役員

會長 曾我量深

理事 松原祐善 竹田淳照 安藤俊雄
福原一來

委員 阿部行人 稻葉秀賢 横超慧日
岸 繁一 佐々木教悟 多屋頼俊
野上俊靜 藤原幸章 舟橋一哉
山田亮賢

庶務委員 岸 繁一

補助委員 江上淨信

會計委員 吉田嘉一郎

囑託

昭和二十七年一月二十日發行

編集兼 發行者 松原祐善

印刷者 西村七兵衛

京都市北區小山上總町

大谷大學内

發行所 大谷學會